

3-2 他学科及び他学部の科目履修に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、学生が所属以外の学科（以下「他学科」という。）又は学部（以下「他学部」という。）の授業科目を履修する場合に必要な事項を定める。

(履修方法)

第2条 学生は、他学科又は他学部が開講する授業科目を履修し単位を修得することができる。

2 学生が在籍中に他学科の授業科目を履修できる単位数は、自由単位を含め20単位を限度とする。

ただし、応用化学科においては、自由単位を含めて32単位を上限とし、うち12単位は当該学生の卒業要件に含まれない生命環境化学科及び応用化学科の開講科目に限るものとする。

電子工学科及び情報工学科においては、自由単位を含めて36単位を上限とし、うち16単位は情報システム学科の開講科目に限るものとする。

3 工学部各学科が他学科の学生に履修を認める授業科目は、附表1に定める。

4 工学部各学科が履修を認める他学部の授業科目は、附表2に定める。

(修得単位)

第3条 他学科又は他学部において修得した単位は、10単位を上限として卒業要件の単位に算入することができる。上限を超えた単位は自由単位とする。

2 他学科において修得した単位の取扱いは、工学部各学科が附表3に定める。

3 他学部において修得した単位の取扱いは、工学部各学科が附表4に定める。

4 生命環境化学科及び応用化学科においては、当該学生の卒業要件に含まれない生命環境化学科及び応用化学科の開講科目（自由単位科目及び読替科目を除く）に限り、他学科履修の上限10単位とは別に12単位を上限として卒業要件の単位に算入することができる。

5 情報システム学科、電子工学科及び情報工学科においては、情報システム学科にて開講される科目（自由単位科目及び読替科目を除く）に限り、他学科履修の上限10単位とは別に16単位を上限として卒業要件の単位に算入することができる。

(履修手続)

第4条 他学科又は他学部の授業科目を履修しようとする者は、所属の学科長及び授業担当教員の許可を得た上で、履修登録期間内に「他学科他学部科目履修許可願」を届け出なければならない。

(雑則)

第5条 この内規の変更は、教務委員会の議を経て、教授会が決定する。

附則 この内規は、平成18年4月1日から施行する。

附則 この内規は、平成19年4月1日から施行する。

附則 この内規は、平成20年4月1日から施行する。

1. 他学科他学部履修内規附表 <平成19年度(2007)以降の入学者に適用>

附表 1

1. 工学部各学科が他学科の学生に履修を認める授業科目は、以下のとおりとする。

機械工学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 一般共通科目及び共通基礎科目については、所属する学科内での履修が困難な場合に限り、履修を認める。 ② 専門科目については、選択1科目（機械工学インターンシップ）及び実験・実習・演習科目を除き、履修を認める。
生命環境化学科	<ul style="list-style-type: none"> 1 生命環境化学コースの授業科目については、以下のとおり、履修を認める。 <ul style="list-style-type: none"> ① 一般共通科目については、一般教養科目の必修科目を除き、履修を認める。 ② 共通基礎科目については、理学系科目の必修科目（ライフサイエンス、基礎化学実験を除く）、選択必修1科目（生物学実験）及び選択2科目（地学実験、基礎化学計算）を除き、履修を認める。 ③ 専門科目については、必修科目（コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱを除く）、選択必修科目及びインターンシップを除き、履修を認める。 2 化学技術コースの2年次以降開講の授業科目については、履修を認めない。
情報システム学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 一般共通科目については、一般教養2科目（教養基礎ゼミと学外特別実習）を除き、履修を認める。 ② 共通基礎科目については、全科目の履修を認める。 ③ 専門科目については、必修科目及び選択1科目（インターンシップ）を除き、履修を認める。さらに、コンピュータ実習Ⅰ、Ⅱは履修を認める。
ロヒットマン学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 一般共通科目及び共通基礎科目については、所属する学科内での履修が困難な場合に限り、履修を認める。 ② 専門科目については、原則的に、実験・実習・演習科目を除き、履修を認める。

附表 2

1. 工学部各学科が履修を認める他学部（人間社会学部）の授業科目は、以下のとおりとする。

機械工学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 人間社会学部共通の教養科目については、選択科目の履修を認める。 ② 人間社会学部情報社会学科及び心理学科の専門科目については、選択科目の履修を認める。
生命環境化学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 人間社会学部共通の教養科目については、選択科目の履修を認める。 ② 人間社会学部情報社会学科及び心理学科の専門科目については、選択科目の履修を認める。
情報システム学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 人間社会学部共通の教養科目については、選択科目の履修を認める。 ② 人間社会学部情報社会学科及び心理学科の専門科目については、選択科目の履修を認める。
ロヒットマン学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 人間社会学部共通の教養科目については、選択科目の履修を認める。 ② 人間社会学部情報社会学科及び心理学科の専門科目については、選択科目の履修を認める。

附表3

1. 他学科において修得した単位の取扱い、以下のとおりとする。

機械工学科	<p>① 他学科の一般共通科目及び共通基礎科目については、機械工学科での履修が困難な場合に限り、履修を認める。 情報システム学科の基礎数学、基礎数学演習を除き、卒業要件単位に含める。</p> <p>② コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱを除き、他学科の専門科目の履修を認め、修得した単位は選択単位として卒業要件単位に含める。</p>
生命環境化学科	<p>1 生命環境化学コース（1年次を含む）は、以下のとおりとする。</p> <p>① 他学科の一般共通科目及び共通基礎科目で修得した単位は、卒業要件単位に認定する。</p> <p>② 他学科の専門科目で修得した単位は、選択単位として認定し、卒業要件単位に含める。ただし、コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱは必修単位として認定する。</p> <p>2 化学技術コースは、以下のとおりとする。</p> <p>① 他学科の一般共通科目及び共通基礎科目で修得した単位は、卒業要件単位に認定する。</p> <p>② 他学科の専門科目で修得した単位は、すべて自由単位とし、卒業要件単位に含めない。</p>
情報システム学科	<p>① 他学科の一般共通科目及び共通基礎科目で修得した単位は、原則として選択単位として認定し、卒業要件単位に認定する。</p> <p>② 他学科の専門科目で修得した単位は、選択単位として認定し、卒業要件単位に含める。ただし、コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱは必修単位として認定する。</p>
ロボットマシナリ学科	<p>① 他学科の一般共通科目及び共通基礎科目で修得した単位は、卒業要件単位に認定する。</p> <p>② 他学科の専門科目で修得した単位は、原則として選択単位として認定し、卒業要件単位に含める。</p>

※自由単位科目で修得した単位は、各学科の卒業要件の単位に含めない。

附表4

1. 他学部（人間社会学部）において修得した単位の取扱い

機械工学科	人間社会学部の教養科目及び専門科目で修得した単位は、すべて自由単位とする。
生命環境化学科	<p>1 生命環境化学コース（1年次を含む）は、以下のとおりとする。 人間社会学部の教養科目及び専門科目で修得した単位は、他学科科目と合わせて10単位を上限として、卒業要件単位として認定する。認定科目については別表に定める。</p> <p>2 化学技術コースは、以下のとおりとする。 人間社会学部の教養科目及び専門科目で修得した単位は、すべて自由単位とする。</p>
情報システム学科	人間社会学部の教養科目及び専門科目で修得した単位は、他学科科目と合わせて10単位を上限として、卒業要件単位として認定する。認定科目については別表に定める。
ロボットマシナリ学科	人間社会学部の教養科目及び専門科目で修得した単位は、他学科科目と合わせて10単位を上限として、卒業要件単位として認定する。認定科目については別表に定める。

別表

1. 人間社会学部において修得した単位のうち、工学部の生命環境化学科生命環境化学コース及び情報システム学科、ヒューマン・ロボット学科が卒業要件の単位として認定する授業科目は、以下のとおりとする。

工学部の認定科目		人間社会学部において修得した科目（いずれか1科目）
一般 共通 科目	社会学	社会学概論 現代社会と倫理Ⅰ 現代社会と倫理Ⅱ 社会シミュレーション論(休講) 貿易論
	国際関係論	国際理解Ⅲ(20世紀の世界史) 国際理解Ⅴ(国際社会と政治) 国際理解Ⅵ(グローバル社会と地誌) 英語圏文化論 国際法 国際関係論 国際交流史
	文化論	国際理解Ⅰ(文化人類学)
	心理学	人間理解Ⅶ(深層心理) 人間理解Ⅷ(自分の心を読む) 人間理解Ⅸ(心理学入門)
	哲学	人間理解Ⅰ(生活の中の哲学) 人間理解Ⅲ(アイデンティティと哲学)
	思想と宗教	人間理解Ⅳ(歴史と宗教) 人間理解Ⅴ(日本人と仏教) 現代社会と宗教Ⅰ 現代社会と宗教Ⅱ
	歴史	国際理解Ⅱ(20世紀の日本史) 国際理解Ⅳ(アメリカの歴史) 西洋史概論 東洋史概論
	スポーツ文化論	人間理解Ⅺ(スポーツと科学)
	経済学	日本経済論 商法Ⅰ 商法Ⅱ ミクロ経済学 マクロ経済学 金融経済論
	経営学	経営管理論 比較経営論 税法

※1 上記の人間社会学部授業科目は、平成23年度の開講科目である。

※2 上記に該当しない人間社会学部修得単位は、すべて自由単位とする。

他学科他学部科目履修許可願

提出日 年 月 日

工学部	科	コース名
学籍番号	第 学年 組	
氏名	連絡先	

窓口受け	記入	確認
/ /	/ /	/ /

期別	曜日	時限	講義番号	開講学科名	授業科目名	科目の履修条件 (該当する項目のチェック欄に○をつけてください)	学科長の承認	担当教員の承認
1	前期・後期・通年					<input type="checkbox"/> 卒業要件単位科目 <input type="checkbox"/> 自由単位科目 <input type="checkbox"/> 教職科目		
2	前期・後期・通年					<input type="checkbox"/> 卒業要件単位科目 <input type="checkbox"/> 自由単位科目 <input type="checkbox"/> 教職科目		
3	前期・後期・通年					<input type="checkbox"/> 卒業要件単位科目 <input type="checkbox"/> 自由単位科目 <input type="checkbox"/> 教職科目		
4	前期・後期・通年					<input type="checkbox"/> 卒業要件単位科目 <input type="checkbox"/> 自由単位科目 <input type="checkbox"/> 教職科目		
5	前期・後期・通年					<input type="checkbox"/> 卒業要件単位科目 <input type="checkbox"/> 自由単位科目 <input type="checkbox"/> 教職科目		

*希望する理由(該当する項目のチェック欄に○をつけてください)

- 自学科で開講されていないため。 必修科目と重複したため。 卒業要件単位を修得するため。 興味があるため。
 その他()

〔注意①〕 枠内を記入すること。

〔注意②〕 担当教員の履修承認(押印又はサイン)がないものは受付られない。